小須戸公民館報

発行所 小須戸町 中央公民館
発行人 岡 謙吾
発行日 毎月15日

花の湯館のお湯って最高ですね!!

～町づくりの為、もっと利用しましょう～

「湯ったり、湯っくり、リラックス」で大盛況！

『花の湯館』がオープンして一年半が経過しました。利用者は当初予想していた人数を遥かに上回り二十万人を超えるという盛況ぶりです。

今回は、町の活性化の為にも花の湯館をどう活かしていったらよいのかを考えてみましょう。

花の湯館を利用している人の声を聞いて…

どなたでも、気軽に利用できる「湯ったり、湯っくり、リラックス」をキャッチフレーズに町内外の方々から利用してもらっています。

先日、花の湯館に伺い利用されている方からの声を聞かせていただきました。

○「まず、お湯がいいですね～。きれいで、広くて、脱衣所も使いやすいです。」

○「眺めがいいし、料金も安くゆったりしていますね。」

○「いい所なので、今度孫を連れてこようと思っています。」

このように、花の湯館の評判はなかなかのものでした。

中には、村松町から来られた方は十回以上も利用されていて、「地元のさくらんど温泉よりいい所です。」とのお話もありました。聞くところでは、当町の方は、夕方から利用するとの事です。又、花の湯館前では、農協婦人部の皆さんが「ふれあい夕市」を開設（毎週土・日曜日午後三時頃から六時まで）しており、特に町外の方から大変喜ばれているとの事です。

また、職員の皆さんからも声を聞かせていただきました。

◎ある企業では、ここで会議を開き、その後ゆっくりお湯に入って行きます。

◎骨折やリウマチを癒す為利用している方も多いようです。

◎身体の不自由な方は、二階へ行くのに不便です。エレベーターがあれば喜ばれると思います。

また、花の湯館を利用している方の年齢層は取材した時間帯（午後二時～四時）もあるのでしょうが、中年層の方が大半でした。夫婦連れ・グループ連れ・親子連れの方等で賑わっていました。

実際来て見て、高齢者が多いだろうと思っていましたが、この取材を通して全くそうではないことを知りました。

特に、これまで何回も利用している方々からは…

●健康を維持するため。

●気持ちを若くしていたい。

●ゆったりした気持ちで過ごしたい。

という目的で利用しているとのことで、子供からお年寄りまで「お風呂は大好！」という方々が大半でした。

10月2日に達成～

花の湯館を効果的に活用しよう

こうして多くの方々から喜ばれている花の湯館を更に活用するため、この施設を生かした、楽しい研修会や講座やイベント等も考えられるのではないでしょうか。

例えば……

①「健康講座」を開き、健康体操や器具を使っての身体づくりや温泉の知識についてを学ぶ。

②大広間において、芸能関係団体の方から公開演奏会の開催。

③施設の周辺に花を植えて、花のオーナーになってもらい花を育て、花の知識を習得する。

④「花の湯館愛好会」をつくり、小須戸町の宣伝を兼ねて写生や写真やビデオを撮ったりして参加者の作品を飾り、交流を深める。

町の活性化のために

以上のように、花の湯館を含めて多くの方々から利用してもらうには、大きな夢構想ですが

☆菩提寺山
自然観察・ハイキングコース

☆大沢公園
キャンプコース・スケボーコース・マウンテンバイクコース・ローラーブレードコース

☆花の湯館
リラックス、まなびいコース・ヤングコース等

というように三点をセットして「やすらぎ・ふれあいゾーン」としてはいかがでしょうか。

まだまだ色々な活用の方法があるかもしれませんが、町民の方々からももっと利用してもらい、豊かな心と活力を育むとともに地域の連帯感を高めていこうではありませんか。

ちょこっと一言 (103)

「秋に思う」

新保一 吉田松夫さん

十八年前の頃になると思うが、長男が幼稚園児の時である。

小型台風が近くを通過する事をテレビで知った。

「大風を見に行く？」「連れて行って!!」稲穂の中に入ると、「スゲー、ワッ、ワーッ、ワァー。」大風をお腹いっぱいに吸いこんでいた。

私にも子供の頃の思い出がある……。私は諏訪町に生まれた。

四十年以前になるか、きっと稲穂の臭いに誘われたのであろう。神社裏手の黄金色の世界に入って行った。

見えるのは細い砂利道、背の高い稲穂、そして澄んだ青い空。

歩いているうちに迷子になってしまった。今の役場付近まで行ったのだろう。泣きながら家まで帰った事を思い出す。

読んでトクする豆知識

インキなどの汚れはご飯つぶで

ご飯つぶをねり込み、ご飯のねばりで付着物を取り、そのあとでご飯つぶをふきとると、細かい目に入った汚れも意味にきれいになります。

楽しい物ご案内

第二回ワルツの集い

日時 十月二十六日（土）
午後一時三十分より

会場 中央公民館三階ホール

会費 三〇〇円

◎男女問わず、初心者独身者歓迎大勢のお出でをお待ちしています。

主催 女性の会こすど

十一月のおもしろ雑学講座

日時 十一月八日（金）
午後七時三十分から九時

会場 中央公民館二階会議室

テーマ 「初心者ペン習字講座」

お話 坂井清風さん（中央町三・毎日展審査会員）

第四十一回 小須戸町剣道大会

日時 十一月三日（日・祝）
午前九時開会式

会場 町民体育館（第一会場）
中学校体育館（第二会場）

主催 教育委員会・剣道連盟

第四十一回 県下柔道大会

日時 十一月十日（日）
午前九時開会

会場 町民体育館

主催 教育委員会・小須戸柔道会

分館楽しい物ご案内

〔矢代田分館〕

☆文化祭

日時 十月二十六日（土）
午後一時から午後九時まで
十月二十七日（日）
午前九時半から午後三時まで

会場 ふれあい会館

〔新保分館〕

☆文化祭

日時 十一月二日（土）
十一月三日（日・祝）
午前八時半から午後六時

会場 新保地域研修センター

スポーツ大会ご案内

第二回小須戸町シングルス テニス大会

日時 十月二十七日（日）
午前九時より

会場 スポーツ公園テニスコート

種目 男子シングルスA・Bクラス
女子シングルスA・Bクラス

参加料 千円
（テニス協会員は無料）

参加資格 町在住者、在勤者、クラブ所属者

申込み 中央公民館
スポーツ公園管理事務所

申込締切 十月二十四日（木）

主催 小須戸町テニス協会

第十八回町民バドミントン大会

日時 十一月十日（日）
午前八時三十分より

会場 小須戸小学校体育館

種目 ダブルス・シングルス

参加料 一般八百円・高校生五百円・中学生以下三百円
（複数種目参加の場合は倍額）

申込み 高野豊宅（☎三八－三四七一）か公民館へ

主催 バドミントン協会

○図書寄贈御礼
横浜市 渡辺英夫様
ありがとうございました

○座布団寄贈御礼
大川前三 村山正芳様
ありがとうございました

矢代田分館運動会 天ケ沢チーム優勝!!

九月二十九日（日）矢代田小学校グランドで第四十四回山の手大運動会が開催されました。

当日は秋晴れとなり、延べ千五百人の方が集い、対抗種目や自由競技にと各選手の額には、大粒の汗が輝き、応援にも一段と力が入り熱のこもった運動会でした。

矢代田小学校の校長先生をはじめ先生方からは運営について色々とご協力をいただきました。

選手並びに役員の方、先生方ありがとうございました。

成績は次のとおりです。

優勝 天ケ沢チーム
準優勝 矢代田Bチーム
三位 鎌倉チーム
四位 松ケ丘チーム
五位 矢代田Aチーム
六位 矢代田Cチーム

'96文化のフェスティバル

文化祭

ご来場をお待ちしています。

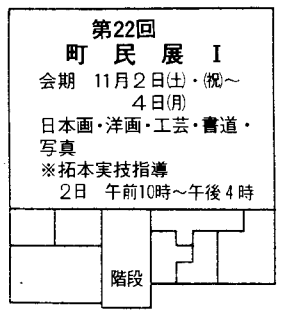
町民展

十一月二日(土)から
十一月四日(月)まで

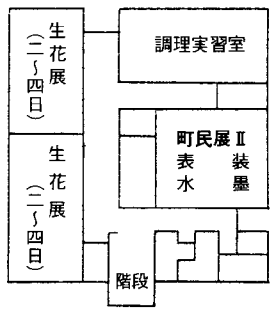
文化協会と中央公民館では、恒例となりました「町民展」を開催いたします。

※展示時間
午前九時から午後九時
(但し、四日は午後四時で閉館)

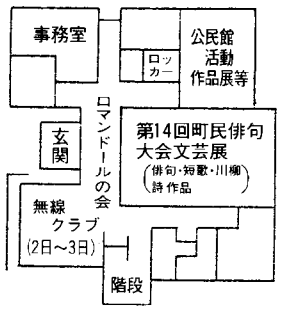
〈3階〉



〈2階〉



〈1階〉



又、日頃の公民館活動における発表や各団体の力作等を展示いたします。

既にチラシで募集しています

☆第二十一回町民展作品
☆文芸展作品
については、早目に中央公民館へお申し込みください。

申し込み〆切
十月二十日(日)まで
(目録作成のため)
皆さんからの作品をお待ちしております。
詳細は中央公民館へ
☎三八－二二三四です。

第十二回 芸能祭

今年は三十団体の参加を得て一年間の練習の成果を披露します。今回は、「子供樽ばやし」(小須戸小・矢代田小)の特別出演があります。乞うご期待!!

日時 十一月十日(日)
午前十一時開演
会場 中央公民館三階ホール
《参加団体》 順不同
民謡節峯会・矢代田民謡同好会・天ヶ沢若葉会・鎌倉民謡同好会・幸代会・寿之会・三藤祥司映会・小須戸民謡保存会・楽結会小須戸支部・小須戸民謡教室・扇都紫会・小須戸町民謡愛好会・成美会・智州舞踊会・我寿万会・詩吟研究会・龍吟会小須戸支部・カラオケクラブ・カラオケ広場・コールあじさい・尺八竹和会・琴松会・琴麗会・琴新会一期・琴新会二期・琴絃会・琴矢会・琴横会・琴光会・琴松ヶ丘

第十三回 文化講演会

良寛研究の第一人者である先生を迎えて、良寛禅師の心や生き方をより深く、暖かく語っていただきます。

日時 十一月十七日(日)
午後一時三十分から
会場 中央公民館三階ホール
テーマ 「良寛さまの愛と心」
お話 谷川敏朗氏
(全国良寛会常任理事)

【講師プロフィール】

略歴
昭和4年　白根市生まれ
昭和28年　東北大学文学部卒
昭和28年～平成2年
宮城県・新潟県の高校教諭、新潟大学人文学部非常勤講師
現在　新潟県立女子短大非常勤講師
全国良寛会常任理事

著書
『良寛全集』別巻・『良寛の生涯と逸話』・『良寛百歌撰』・『良寛の旅』・『良寛の生涯』・『検註良寛全歌集』・『良寛一詩歌と書の世界』・『新潟ゆかりの文人たち』等

図書だより〈新刊案内〉

▼中央公民館▲

○あのころ　さくらももこ
○弟　石原慎太郎
○朝ごはん食べた?　内館牧子
○小石川の家　青木玉
○平和へのかけ橋　明石康
○天空の蜂　東野圭吾
○教科書が教えない歴史　藤岡信勝
○「人地の子」と私　山崎豊子
○「家族」という名の孤独　斉藤学
○蛇を踏む　川上弘美
○「死の医学」への日記　柳田邦男
○龍平の現在　川田龍平
○プラス思考　三浦弘行
○新ゴーマニズム宣言スペシャル　脱正義論　小林よしのり
○見えない暗闇　山田太一
○おんなの家　四季折々　橋田壽賀子
○この国のかたち(一)～(六)　司馬遼太郎
○水脈　高樹のぶ子
○逆光のメディチ　藤本ひとみ
○思い出トランプ　向田邦子
○向田邦子との二十年　触れもせで　久世光彦
○カープ島サカナ作戦　椎名誠
○アポロ13号　奇跡の生還　ヘンリー・クーパー
○庭仕事の楽しみ　ヘッセ
○日本みんわ絵本　全三十二巻他四十一冊

▼ふれあい会館▲

○小説　石田三成　童門冬二
○最後の将軍　徳川慶喜　司馬遼太郎
○宮沢賢治　思想と生涯　柴田まどか
○寅さん大全　井上ひさし
○神々の指紋(上)・(下)　グラハム・ハンコック
○Betty chanの地味なくらし　内館牧子
○リング　鈴木光司
○わたしの宇野千代　瀬戸内寂聴
○心に残るいい話　新潟日報社
○これからの犬の育て方、しつけ方　芝内裕子
他十六冊

13日　おもしろ雑学講座
森平淳子先生による「老人痴呆とその対応について」たいへん身につまされました。

14日　花いっぱい教室
講師を囲みながら、シャクヤクの株分けを指導されているところです。

17日　話し方教室
亀田町の坂井勲先生から2回(月1回)にわたり受講生からの意見発表を交え、学習しました。

シリーズ「今、子どもたちは」(2)

町に出て学ぶ子供たち

小須戸小学校

「より魅力と充実感あふれる学校づくり」をめざし、県では「いきいきスクール・ステップアップ運動推進事業」をやっています。

小須戸小学校では、この事業を受け「ふれあい学ぶ豊かな心の育成」とテーマを定め、様々な教育活動を繰り広げています。

特に、小須戸町の自然や人々と触れ合う中で理解を深めていく学習に力を入れています。

町の施設・工場見学や野原・田畑に出かける子供たちの目は一段と輝いています。

記載の写真は、二年生の生活科「まつりをしよう」の一コマです。まつりについて氏子代表の方々が親切に教えてくださいました。町の皆様の温かい心に支えられ、学習し成長している子供たちです。

文芸欄

川柳

祭り終え疲れいやしに緑花泉　栗原ひさし
マイカーの続く街道リンゴ村　藤井春江
万歩計つらなる花道りんどう咲く　松沢キヨ
満期まで積んだ貯金に利子僅か　増井都留
○印はまつりを詠った川柳です

短歌

食堂のランプシェードの柔らかな列　村山文子
車の灯りに今日も出合いぬ
孫達は小学校と保育園静かに一日夫と過ごしぬ　河内ヒロ
幼きに逝きし子の霊寄ると言う賽の河原の海鳴り消えず　村木リツ
梅雨の季肥えたる土に包まれて芋の子多しよ馬鈴薯の花　吉田久次

俳句

秋日和少年達の野球戦　玉村タネ
盆過ぎの唐丸の鳴く村の寺　丸山栄子
曼珠沙華さっそく手折り仏前に　中野雅世
こおろぎの練習太鼓物とせず　東樹ちよ
打ち水のしてあり夫不在なり　笠井すみ
大根蒔く地を整ふて雨を待つ　吉田ミナ
教室のどっと笑ひし迷ひ蟬　間島秀穂
稲光老後閃くこともなし　丸山虚秋
御霊社へころ慎める秋の風　内山越楼